

事務事業名	延長保育促進補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	子育て支援グループ	課長名	田中 孝治
施策名	(22)子育て支援の充実	担当者名	多根 英志	電話番号 (内線)	0854-40-1044 3626
基本事業名	(064)子育て環境の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 110 210 713	延長保育促進事業補助金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (17年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	延長保育を実施する市内の私立認可保育園に対して補助金を交付する。	保護者の就労形態の多様化、長時間の勤務等に伴う保育時間の延長に対する需要に対応するため実施。17年度より実施

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	財源内訳	国庫支出金	千円 4,313	6,666				
		県支出金	千円		6,660	8,000		
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円 3,187	3,334	3,340	4,000		
		事業費計 (A)	千円 7,500	10,000	10,000	12,000	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人 4	4	4			
		延べ業務時間	時間 855	855	855			
		人件費計 (B)	千円 3,261	3,324	3,370	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円 10,761	13,324	13,370	12,000	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
⑤ 活動指標	23年度実績(23年度に行った主な活動)	ア 補助金支払件数	回	2	3	3	3		
	市内私立認可保育園 3園で実施	イ							
⑥ 対象指標	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ							
	市内私立認可保育園 3園で実施	エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
⑦ 成果指標	実施保育園入所児童及びその保護者、事業実施保育園	ア 市内私立認可保育園在籍児童数	人	251	260	260	260		
		イ 市内私立認可保育園数	園	3	3	3	3		
⑧ 上位成果指標	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 平均対象児童数:1日当たり	人	21	13	15	15		
		イ							
⑨ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	ア 子育てしやすいと感じる市民の割合	%	40.5	51.1	61			
		イ 自分の子どもが心身ともに健全だと感じる保護者の割合(子ども;18歳以上)	%	88.5	89.9	90			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保護者の就労形態が多様化していることや、女性の社会進出が進み、共働き世帯が増えるにつれて、保育所の基本開所時間を越えた延長保育を必要とする家庭はこれまで以上に増加している。	事業の必要性が増加している。また、市が実施する保育サービスへの民間活力の導入が検討されていることから、今後より一層の取り組みの強化が必要である。(H20~かもめ実施。H22~三刀屋実施。また、たちばら保育園では、利用者数が少ないため国基準対象外で実施している)	延長保育の実施にかかる費用負担及び国基準に基づく人材配置と確保。延長時間については、保護者のニーズを把握し、検討が必要な場合がある。

事務事業名	延長保育促進補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 保護者の残業等のため、保育所の基本時間を越えた延長保育を必要とする児童を預かるため、働きながらも安心して子育てができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が必要と認めた私立認可保育園で実施されるニーズの高い延長保育に対して、補助することは妥当であるとする。市内公立保育所7ヶ所のうち2ヶ所のみ実施しているため、私立認可保育園に依存している状況である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 保護者の就労形態の多様化や女性の社会進出は今後ますます進んでいくと考えられるため、事業の重要性は増している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 既に市内にある私立認可保育園3園すべてで実施しているが、延長時間については、保護者のニーズを把握し、検討が必要な場合がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 保護者の負担増となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 保育ニーズを踏まえ、国の補助基準の基づき実施している
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費は国が示す補助基本額内のため、コスト削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金交付事務のため、削減の余地はほとんどない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 入所児童すべてが対象となるため、サービスの偏りはない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の必要性が増加していること、市が実施する保育サービスへの民間活力の導入が検討されていることから、今後より一層の私立保育園での取り組みが必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
延長保育の実施にかかる費用負担。資格者の人材確保。延長時間については、保護者のニーズを把握し、検討が必要な場合がある。																							